

**令和4年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会
第1回役員会議事録**

日時：令和4年4月10日（日） 午前10時

方式：web 審議

出席者：空田 安博、福本 敏、今村 均、岡 暁子、小笠原 貴子、馬場 篤子、田上直美、稲田 絵美、渡辺 幸嗣、板家 智、福島 直樹、舩元 康浩、堀内 礼子、宮崎修一、木船 敏郎、井上 浩一郎、宮川 尚之、竹島 勇、柳田 憲一、西田 郁子、石谷 徳人、山崎 要一、尾崎 正雄、佐伯 桂、藤田 優子

欠席者：藤原 卓

（敬称略）

会長挨拶

- ・空田会長がご挨拶を述べられ、令和4年3月31日に急逝された牧教授に参加者全員で1分間の黙祷を捧げた。

開会の辞

- ・福本副会長が開会の辞を述べられた。

1. 報告事項

- 1) 空田会長が令和4～5年度役員紹介を行い、新任の先生より一言ご挨拶を頂いた。
- 2) 福本副会長より第40回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、資料2を用いてできるだけ対面での開催をしたいが、コロナ禍のため入場制限をしてハイブリッド開催など工夫が必要となることもある旨説明があった。
- 3) 岡常任幹事より第41回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、資料3を用いて開催日についてご希望等あればご連絡頂きたい旨説明があった。

2. 審議事項

- 1) 令和3年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告
 - ・稲田大学代表幹事より令和3年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告（資料4）があり、賛成多数により承認された。
- 2) 第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告
 - ・田上先生より第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告（資料5）があり、賛成多数により承認された。
- 3) 1) および2) に対する会計監査報告は、奥監事・村上監事不在の為、稲田大学代表幹事より、会計監査についてご報告があり、賛成多数により承認された。
- 4) 令和4年度九州地方会事業計画について、資料6を用いて、空田会長より説明され、賛成多数により承認された。又、本年度は九州地方会40周年に当たる年なので、セミナーを開催する等を通じて会員や地域社会にアピールすることが望ましい旨意見が出た。

- 5) 令和4年度九州地方会予算案について、資料7-1を用いて、佐伯会計幹事より説明があり、賛成多数により承認された。
- ・本年度も地方会大会を対面で行う前提での予算案となっている。
 - ・予算案にある「各種勉強会」とは何かと質問が出た。コロナ禍前は勉強会を開催していたため予算案に組み込んでいるが、状況を見て開催するかどうかを判断していく。
 - ・本部からの補助金がゼロである点について質問が出た。日本小児歯科学会が公益社団法人となってからは、不足した額をまず確定し、その不足分について本会から補填される形を取っている旨説明があった。
- 6) ニュースレターの発刊について、資料8を用いて藤田広報幹事より説明され、賛成多数により承認された。
- ・新任教授、退官(任)教授のご挨拶の記事を副会長挨拶の後に掲載することとする。
 - ・新任教授、退官(任)教授のご挨拶の記事を依頼する範囲は会長一任となった。令和4~5年度は、九州で小児歯科の教授に着任(教授を退任)された先生に依頼することとなった。
- 7) その他
- ・特別幹事(地方会推薦理事)と県代表幹事が兼任の状況となっている宮川先生が鹿児島県の県代表幹事を辞退したい旨お申し出があった。役員会およびその後の会長、副会長、常任理事による話し合いの結果、山崎教授から宮川先生へ特別幹事(地方会推薦理事)と県代表幹事を兼任していただくよう説得をしていただき、どうしても辞退なさるということになれば事務局が鹿児島県の県代表幹事を決める選挙を行うこととなった。
 - ・新しい理事長が決定した後、西田先生が特別幹事(理事長推薦理事)の役職から離れる可能性があるため、その場合には西田先生にオブザーバーとして役員会に出席していただくこととなった。

閉会の辞

- ・今村副会長が閉会の辞を述べられた。